

TX
八潮
駅

高架下商業施設改修に筑波山産間伐材

スペース 地材地消でCO₂排出量抑制

商業施設などの空間設計を手掛けるスペース（東京都中央区、佐々木靖浩社長）は、2024年12月11日にリニューアルオープンしたつくばエクスプレス（TX）の高架下商業施設「T



筑波山産木材を使った商業施設

Xアベニュー八潮」（埼玉県八潮市）の企画・設計・施工を担当した。誰もが気軽に入れるよう、外観は「まちのカフェ」をイメージ。ベンチや天井装飾などにTX沿線の筑波山産間伐材を使用して、輸送にかかる二酸化炭素（CO₂）排出量を抑えた。

プロジェクト関係者自ら、木材を伐採するプログラムを企画。筑波山に足を運び、森林保護の必要性や木材の重要性を学ぶことで施設への愛着を深めるきっかけとした。

同社が木材の「地材地消」でCO₂排出量の抑制に取り組んだのは初めて。

TXを運営する首都圏新都市鉄道は、沿線の活性化を目的に駅直通商業施設を改修している。スペースはおおたかの森駅、守谷駅、八潮駅を手掛けた。